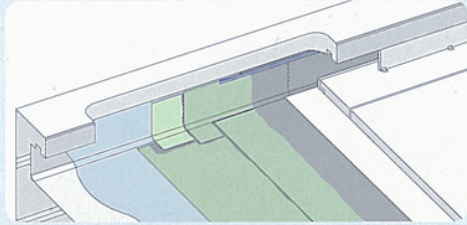


⑤ あなたの屋上は、大丈夫？

あてはまるものに
チェックしてください。

Check 1

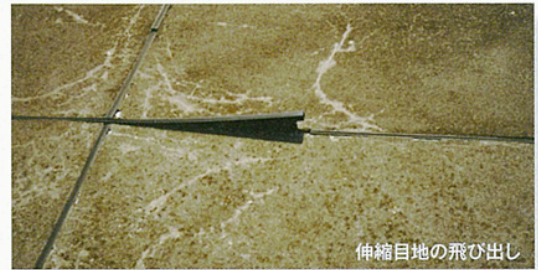
現状が『アスファルト防水押えコンクリート仕上げ面』の場合



Q1 防水改修を行わず、17年以上
経っている。

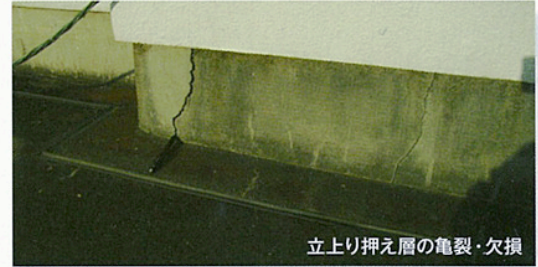
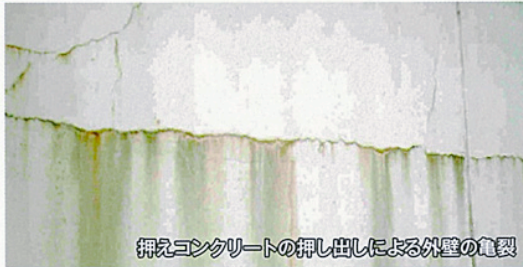
Q5 床面のコンクリートの目地が飛び出している。
コンクリート自体が盛り上がっている。

Q2 現在雨漏りが発生している。



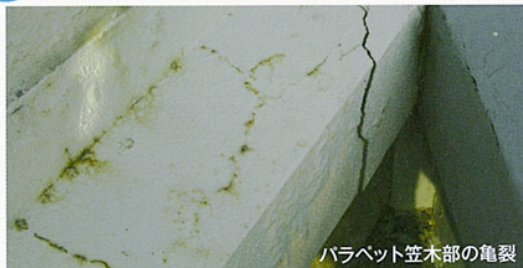
Q3 屋上の外壁の壁に水平に
長いひび割れが発生している。

Q6 外周の腰壁面（立上り面）の
コンクリート、モルタルが割れている。



Q4 コンクリートのひび割れがひどい。
叩くとカラカラと乾いた音がある。

Q7 ドレイン（排水溝）周辺のひび割れが
ひどい。雑草が生えている。



判定

- ◆ チェックが1～2項目……点検・清掃をしながら、経過を観察しましょう。
- ◆ チェックが3～4項目……要注意です。専門家に防水診断を依頼しましょう。
- ◆ チェックが5項目以上……防水改修の必要性が高いと思われます。改修計画の立案を検討しましょう。

防水用語
一口メモ

※パラベットとは：屋上外周に沿って立ち上げた腰壁で、屋根防水層を立ち上げる末端となる部分
 ※笠木とは：堀・手すりなどの頂部に乗せる横木などの仕上げ材のことで、防水では一般にパラベットの上にかぶせて雨水を防水端末に入らないようにする部材をいう。モルタル笠木・アルミ笠木などがある。
 ※伸縮目地とは：アスファルト防水の上にコンクリートを打設して仕上げる、押えコンクリート仕上げの際に、下地の動きによりコンクリートに亀裂が入らないように、一定間隔に入れておく目地のこと。
 ※立上り押え層とは：アスファルト防水押えコンクリート仕上げなどの際に、立上り部防水層を紫外線劣化から保護するためにかぶせるモルタルやレンガ積みなどの保護層（上のイメージ図を参照）